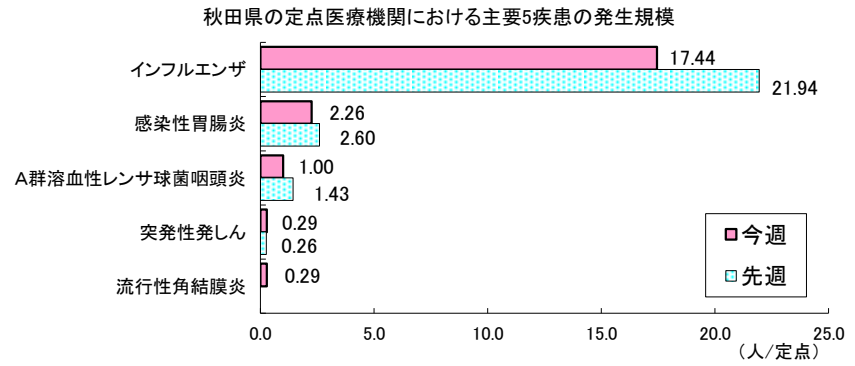


【第12週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

- インフルエンザは、県全体で21%減少しています。保健所別では、能代、大仙、横手で増加、秋田市、大館、北秋田、秋田中央、由利本荘、湯沢で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で13%減少しています。保健所別では、大仙、湯沢で増加、秋田中央で同規模、秋田市、大館、北秋田、能代、由利本荘、横手で減少しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で30%減少しています。保健所別では、大館、由利本荘、横手、湯沢で増加、秋田市、北秋田、能代、秋田中央、大仙で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減			
RSウイルス感染症	0.23	0.09	↘				1.75	0.75	↘							0.25		↘												
インフルエンザ	21.94	17.44	↘	29.00	15.09	↘	25.00	22.71	↘	8.00	5.33	↘	12.75	17.25	↗	25.83	11.83	↘	22.67	18.33	↘	18.43	21.71	↗	16.60	18.00	↗	22.60	21.80	↘
咽頭結膜熱	0.03	0.06	↗																	0.50	↗						0.25		↘	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.43	1.00	↘	2.57	1.57	↘		0.25	↗	0.50		↘	0.33		↘	5.00	3.00	↘		0.25	↗	2.00	0.75	↘	0.33	1.33	↗	0.25	0.75	↗
感染性胃腸炎	2.60	2.26	↘	4.14	2.86	↘	1.50	0.75	↘	3.00	2.50	↘	6.00	5.67	↘	2.25	2.25		1.25	1.00	↘		0.25	↗	3.33	1.00	↘	2.00	4.25	↗
水痘	0.23	0.14	↘	0.43		↘		0.25	↗										0.25	0.50	↗	0.25	0.25		0.33		↘	0.25	0.25	
手足口病	0.03	0.09	↗	0.14	0.29	↗					0.50	↗																		
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.26	0.29	↗	0.43	0.86	↗	0.25	0.25			0.50	↗										1.00	0.50	↘	0.33		↘			
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎	0.11	0.14	↗				0.25	0.50	↗													0.75	0.75							
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎		0.29	↗		0.67	↗				*	*		*	*		*	*									*	*			
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.63	0.25	↘							5.00		↘				*	*												2.00	↗
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.13	0.13					1.00		↘							*	*					1.00	↗							

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、秋田中央保健所管内から1人、報告されました。

・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が大館保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-11週		12週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	4124	24	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
鳥インフルエンザ(H7N9)				
三類	コレラ		2	
	細菌性赤痢		42	
	腸管出血性大腸菌感染症		130	
	腸チフス		13	
	バラチフス		5	
四類	E型肝炎	66		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	112		
	エキノкокクス症	1		
	黄熱			
	オウム病			
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群			
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-11週		12週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	38		
	デング熱	23		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	1		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	1		
	マラリア	9		
	野兔病			
	ライム病			
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	218	1		
レプトスピラ症				
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	152		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	34	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	320	2	
	急性脳炎	231	2	
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	45		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	191	2	
	後天性免疫不全症候群	244		
	ジアルジア症	15		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	102		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	8		
	侵襲性肺炎球菌感染症	890	6	1
	水痘(入院例に限る。)	65	2	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	1166	1	
	播種性クリプトкокクス症	29		
	破傷風	10		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	10		
	百日咳	626	8	
風しん	6			
麻しん	11			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	3			

トピックス

<年度末は感染性胃腸炎に注意>

今シーズンの感染性胃腸炎の流行は、例年と比べて小規模に推移していますが(4ページ参照)、2月下旬から食品が原因と疑われる集団感染事例及び有症苦情事例が散見されています(表)。

県健康環境センターで2月以降に検出された胃腸炎ウイルスの主流はノロウイルス(GII.4型、GII.2型等)ですが、サポウイルスやアデノウイルスなども検出されています。

予防対策は、ウイルスや型によって大きな違いはなく、日常の衛生管理をしっかり行うことが大切です。年度末は人の移動が多くなり、送別会等の会食機会が増えることから、胃腸炎ウイルスも流行しやすい状況となります。次の点に気をつけて、感染を防ぎましょう。

■予防対策

1. 手洗いは石鹸をよく泡立てて行い、手のひら、手の甲、爪の間、指の間、親指の付け根、手首を十分に洗いましょう。
2. 嘔吐物等は、塩素系漂白剤で消毒しながら後始末をしましょう。乾くとほこりと一緒にウイルスが舞い上がるので、早期の消毒が重要です。
3. 手すりやドアノブ等、人の手が触れる部分をときどき塩素系漂白剤で消毒しましょう。
4. 調理を行う前には十分に手を洗いましょう。ウイルスは85℃1分半の加熱で死滅しますが、加熱後の盛り付け段階で手から食品にウイルスが付着して食中毒を起こす場合があります。
5. カキの「生食用」の表示は細菌を対象とした指標のため、ウイルスが含まれている可能性がありますので、調理や喫食の際は注意しましょう。

表 県健康環境センターで2月以降に検出された胃腸炎ウイルス

検体採取月日	保健所管区	検体収集区分	検出ウイルス
2月6日	北秋田	感染症発生動向調査	ノロウイルスGII.4型
2月7日	秋田市	"	ノロウイルスGII.4型
2月10日	秋田市	"	サポウイルスGII.3型
2月14日	秋田市	"	サポウイルスGII.3型
2月20日	北秋田	"	ノロウイルスGII.2型
2月21日	秋田中央	有症苦情(食品関連)	ノロウイルスGII.4型
3月2日	横手	感染症発生動向調査	ノロウイルスGII.4型
3月3日	由利本荘	積極的疫学調査(食品媒介事例)	ノロウイルスGII.4型
3月5日	秋田市	感染症発生動向調査	ノロウイルスGII.2型
3月5日	秋田市	"	サポウイルスGII.3型
3月6日	秋田市	"	ノロウイルスGII.2型
3月8日	横手	有症苦情(生カキ関連)	ノロウイルスGII.17型
3月12日	秋田市	感染症発生動向調査	ノロウイルスGII.4型、アデノウイルス2型混合感染
3月13日	秋田市	"	ノロウイルスGII.2型、アデノウイルス3型混合感染



2017年/2018年シーズン (2017年第36週 : 9月4日～)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

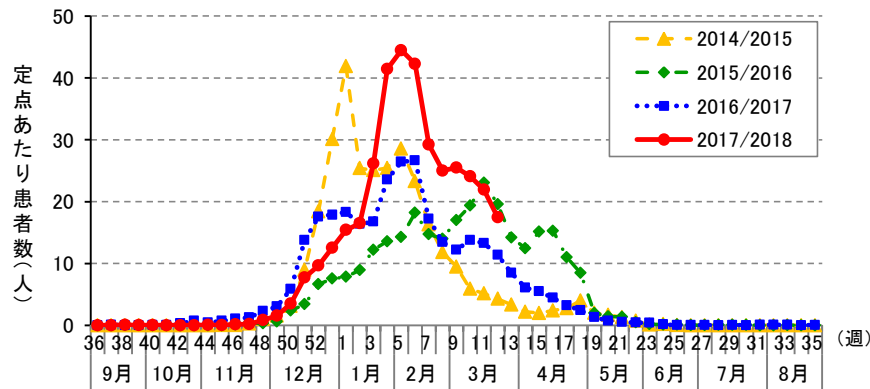


図: 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス

表: 2017/2018シーズン
秋田県および全国におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)			
秋田県		全国	
3/19～3/25 (12週)	累計	3/12～3/18 (11週)	累計
26	346	628	19,289

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8カ所、全国約500カ所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生が8件報告されました。

所在地	施設名称	発生届出日	有症者数
潟上市	ショートステイ 松の杜	3/23	利用者28名のうち9名 職員16名のうち2名 計11名
北秋田市	合川新生園	3/23	利用者99名のうち10名 職員76名のうち2名 計12名
大館市	デイサービス 花	3/26	利用者40名のうち7名 職員8名のうち3名 計10名
秋田市	特別養護老人ホーム ほどの	3/26	利用者48名のうち4名 職員39名のうち7名 計11名
能代市	第四保育所	3/27	園児57名のうち10名
仙北市	角館西保育園	3/27	園児42名のうち10名 職員16名のうち2名 計12名
湯沢市	雄勝中央病院	3/27	入院患者56名のうち7名 職員35名のうち4名 計11名
北秋田市	特別養護老人ホーム 永楽苑	3/28	利用者79名のうち6名 職員49名のうち5名 計11名

○今シーズンの報告状況

累計施設数 149: 社会福祉施設 36、保育所 108、病院 5

<参考>

○昨シーズンの報告数

累計施設数122: 社会福祉施設63、保育所・幼稚園46、病院13

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

インフルエンザ様疾患による学校等の休業状況

インフルエンザ様疾患集団発生(集団かぜ)が1件報告されました。

区分	学校名	報告日	措置状況	措置学年・学級	措置期間
保育所	にしもないこども園(羽後町)	3/26	学年閉鎖	2歳児	3/27 ~ 3/31
				3歳児	
				4歳児	
				5歳児	

○今シーズンの措置状況

累計施設数 448: 休校・休園 17、学年閉鎖 234、学級閉鎖 197

<参考>

○昨シーズンの措置数

累計施設数 300: 休校・休園 18、学年閉鎖 147、学級閉鎖 135

※同一施設で同一週(月曜日～日曜日)に休校、学年閉鎖、学級閉鎖をした場合は、休校>学年閉鎖>学級閉鎖の順位で1とカウントしています。



感染性胃腸炎情報

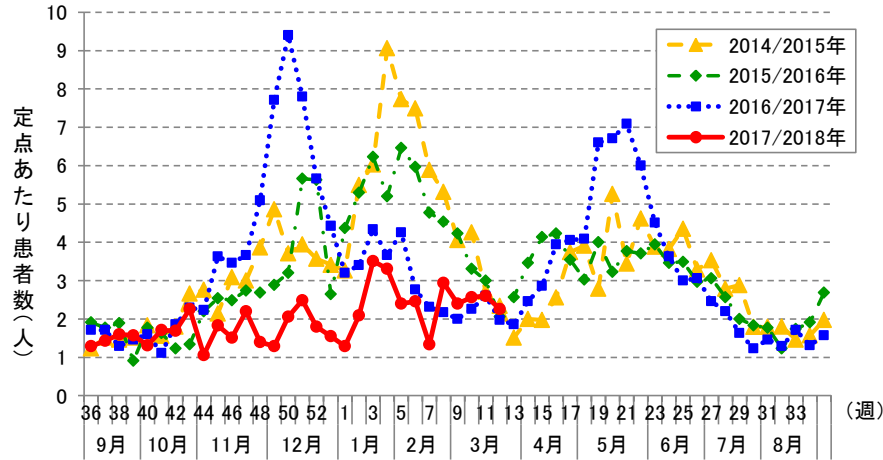


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

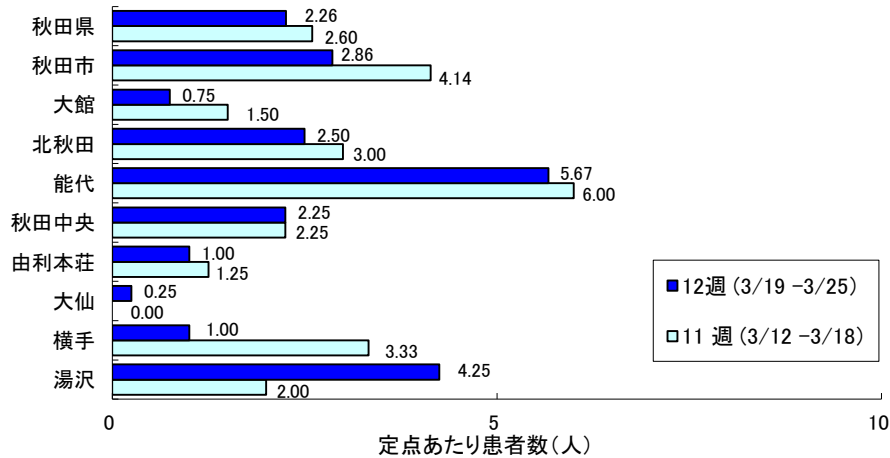


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告はありませんでした。

★感染性胃腸炎の集団発生状況

平成29年度 41施設 発症者 624名
 <社会福祉施設 8、保育所・幼稚園 33>

【参考】

平成28年度 60施設 発症者 1,066名
 <社会福祉施設 5、保育所・幼稚園 53、学校 1、宿泊施設 1>

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年3月26日
 受付保健所 由利本荘保健所
 施設名称 ショートステイわかば
 有症者数 利用者70名のうち9名
 職員34名のうち2名 計11名
 把握期間 3月15日から3月26日まで



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	-	秋田市(15.09)、大館(22.71)、能代(17.25)、秋田中央(11.83)、由利本荘(18.33)、大仙(21.71)、横手(18.00)、湯沢(21.80)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	4	7	4	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、湯上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		